

素愚

南部栄司

(真韻)

越前雄島

えちぜんおしま
越前雄島

○ ● ○ ○ ● ● ◎
靈樹森森逼北辰

れいじゆ しんしん ほくしん せま
靈樹 森森 北辰に逼る

○ ○ ○ ● ○ ○ ◎
鷗飛濤沫跳魚鱗

かもめと とうまつ ぎよりんおびる
鷗飛ぶ 濤沫 魚鱗跳る

● ○ ● ● ○ ○ ● ●
跨鯨祖到巖崖島

くじら また そいた がんがい しま
鯨に跨がり 祖到る 巖崖の島

● ● ○ ○ ○ ● ◎
萬古尊崇浮海神

ばんこ そんすう うみ う かみ
萬古 尊崇す 海に浮かぶ神

通釈

年を経た神々しい樹が、高くそびえたち、北極星にも届きそうだ。
鷗が飛びまわっていて、大きな波しぶきに、魚鱗が跳る。
鯨に跨って神様（祖先）がやって来たという、巖しい巖崖の島がある。
越前雄島は海に浮かぶ神として、大昔から永遠にいつまでも、尊ばれ崇められている。

語訳

靈樹 神秘なる力をもつ、神々しい樹。不思議で神秘的な姿を持つ原始林。
森森 樹木が高くそびえたつさま、盛んに茂るさま。
北辰 北極星。
濤沫 波しぶき。
乗鯨 大昔に神様（祖先）が鯨に乗ってきたという「乗鯨神来」の伝説がある。
萬古 遠い昔。おおむかし。永遠、いつまでも。
尊崇 とうとびあがめる。

平成三十年三月二十八日

18.04.19



NAM 3u 0512